



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <https://www.mitsuboshi.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 辻 政嗣

TEL 078-685-5630

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	30,459	18.1	1,959	55.5	2,296	47.0	1,600	47.8
2020年3月期第2四半期	37,200	1.2	4,404	6.8	4,329	17.6	3,068	13.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,095百万円 (26.8%) 2020年3月期第2四半期 2,863百万円 (36.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	55.03	
2020年3月期第2四半期	101.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	99,458	73,263	73.7
2020年3月期	101,154	71,953	71.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 73,263百万円 2020年3月期 71,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		27.00		27.00	54.00
2021年3月期		27.00			
2021年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	14.1	3,200	56.2	3,400	55.6	2,800	48.8	96.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	32,604,198 株	2020年3月期	32,604,198 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	3,527,277 株	2020年3月期	3,527,018 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	29,077,054 株	2020年3月期2Q	30,254,794 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大幅に減少し、雇用情勢、個人消費、設備投資等の低迷が続くなど経済活動は低下しました。その後、感染拡大防止対策の効果により自粛要請が解除され、経済活動の対策等により徐々に持ち直しが見られたものの、総じて厳しい状況で推移いたしました。世界経済は、中国がいち早く経済活動を再開し大きく回復を見せましたが、他の地域においては同感染症の影響は収束の目途が見られない中、各国の政治情勢や米中の通商問題が不安視されるなど先行きは不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは感染防止対策に注力するとともに、従業員の身の安全と雇用が維持できるよう努める一方、売上高と利益の確保も最大限図れるよう、活動してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高30,459百万円（前年同期比18.1%減）、営業利益1,959百万円（前年同期比55.5%減）、経常利益2,296百万円（前年同期比47.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,600百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[国内ベルト事業]

自動車用ベルトは、新型コロナウイルス感染症の影響によりユーザーの工場の稼働停止や輸出需要が低迷したことなどから売上高が減少しました。また、一般産業用ベルトや搬送ベルト、合成樹脂素材についても同様に国内企業の生産活動の落ち込みに伴って売上高が減少いたしました。

その結果、当事業の売上高は11,875百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は2,037百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

[海外ベルト事業]

自動車用ベルトは、自動車メーカーの生産調整によって生産台数が大きく減少したことから、アジア・米国・欧州いずれの地域でも売上高が減少しました。

一般産業用ベルトは、中国や東南アジアにおいて農業機械向けの需要が回復傾向にあることなどから前年同期並みとなりました。一方、OA機器用ベルトはアジアでの売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は13,388百万円（前年同期比22.7%減）、営業利益は1,101百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

[建設資材事業]

建築部門は公共や民間の工事物件の中止や延期の影響を受けたことに加え、土木部門も大口工事物件が減少したことから売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は2,832百万円（前年同期比19.4%減）、営業利益は160百万円（前年同期比70.0%増）となりました。

[その他]

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は2,362百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は12百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末は、固定資産が456百万円増加したものの、流動資産が2,153百万円減少したことから、総資産は前連結会計年度末比1,696百万円減少の99,458百万円となりました。

負債は、流動負債が2,853百万円、固定負債が153百万円とそれぞれ減少したことから、前連結会計年度末比3,006百万円減少の26,195百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が815百万円、その他の包括利益累計額が495百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比1,310百万円増加の73,263百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.1%から73.7%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大規模と経済への影響は、国内・海外を問わず先行きが見通せない状況が続く一方で、各国の政治情勢や通商問題も下振れリスクとして懸念されるなど、世界情勢は依然として厳しい状況が続くものと考えられます。

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大などにより本格的な回復には時間を要すると想定されることや各国の政治情勢並びに米中の通商問題への下振れ懸念から、前回発表しました業績予想は据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,360	30,897
受取手形及び売掛金	14,687	14,048
商品及び製品	12,983	11,931
仕掛品	2,099	1,933
原材料及び貯蔵品	3,128	3,328
その他	1,021	983
貸倒引当金	△110	△105
流動資産合計	65,170	63,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,495	6,376
機械装置及び運搬具(純額)	8,450	8,129
工具、器具及び備品(純額)	2,094	2,261
土地	3,930	3,928
リース資産(純額)	1,318	1,353
建設仮勘定	954	976
有形固定資産合計	23,244	23,026
無形固定資産	1,396	1,285
投資その他の資産		
投資有価証券	10,040	10,946
その他	1,321	1,200
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	11,344	12,128
固定資産合計	35,984	36,440
資産合計	101,154	99,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,103	6,778
短期借入金	4,524	4,124
未払法人税等	652	401
賞与引当金	837	915
その他	4,708	4,754
流動負債合計	19,826	16,973
固定負債		
長期借入金	2,700	2,250
退職給付に係る負債	1,581	1,686
役員退職慰労引当金	22	24
その他	5,070	5,261
固定負債合計	9,374	9,221
負債合計	29,201	26,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	63,272	64,087
自己株式	△5,788	△5,788
株主資本合計	67,745	68,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,669	6,297
為替換算調整勘定	△1,294	△1,443
退職給付に係る調整累計額	△166	△150
その他の包括利益累計額合計	4,207	4,702
純資産合計	71,953	73,263
負債純資産合計	101,154	99,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	37,200	30,459
売上原価	25,576	21,859
売上総利益	11,624	8,599
販売費及び一般管理費	7,220	6,639
営業利益	4,404	1,959
営業外収益		
受取利息	127	48
受取配当金	201	199
その他	169	286
営業外収益合計	499	534
営業外費用		
支払利息	32	23
為替差損	431	25
固定資産除却損	53	70
その他	56	78
営業外費用合計	574	197
経常利益	4,329	2,296
税金等調整前四半期純利益	4,329	2,296
法人税等	1,261	696
四半期純利益	3,068	1,600
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,068	1,600

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,068	1,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	523	627
為替換算調整勘定	△732	△148
退職給付に係る調整額	3	16
その他の包括利益合計	△204	495
四半期包括利益	2,863	2,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,863	2,095
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,042	17,313	3,516	34,871	2,328	37,200	—	37,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,416	1,057	—	5,473	935	6,409	△6,409	—
計	18,458	18,370	3,516	40,345	3,264	43,609	△6,409	37,200
セグメント利益	3,384	2,266	94	5,745	11	5,757	△1,352	4,404

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,352百万円には、セグメント間取引消去335百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,688百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,875	13,388	2,832	28,096	2,362	30,459	—	30,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,035	934	9	3,979	521	4,501	△4,501	—
計	14,910	14,322	2,842	32,076	2,884	34,960	△4,501	30,459
セグメント利益	2,037	1,101	160	3,298	12	3,311	△1,351	1,959

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,351百万円には、セグメント間取引消去319百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,671百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。